

箕面ビジターセンターだより

～明治の森箕面国定公園の自然と生き物～

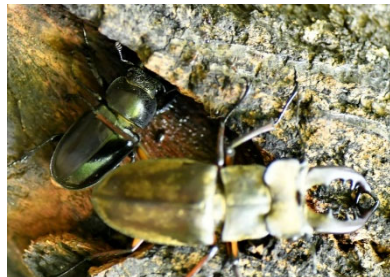
夏の特集号
(7月・8月・9月号)

明治の森箕面国定公園は四季折々に多様な生物がみられます。このパンフレットは国定公園に生息する生き物たちと、彼らの暮らしを紹介しています。

樹液に集まる昆虫たち 樹液が染み出したところには、夜間、多くの虫たちが集まることはよく知られていますが、日中もクワガタやカナブンなどの甲虫、スズメバチの仲間、タテハチョウの仲間も樹液を求めて訪れています。



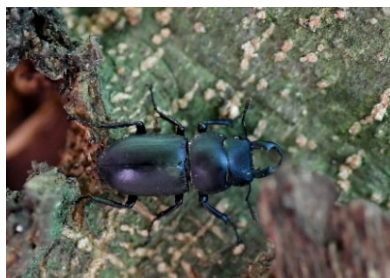
オオスズメバチ カナブン オオムラサキ



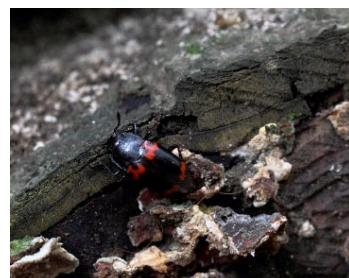
ミヤマクワガタ



カブトムシ



コクワガタ



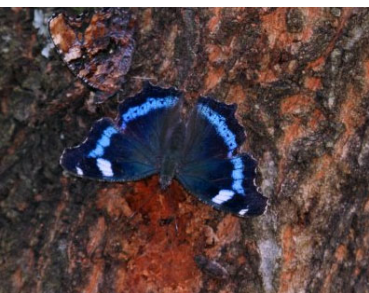
ヨツボシケシキスイ



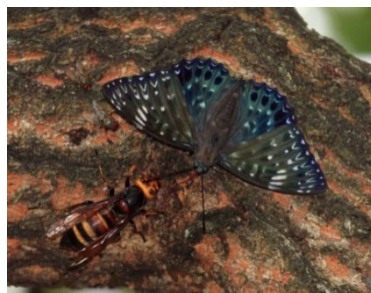
ゴマダラチョウ



ヒオドシチョウ



ルリタテハ



スミナガシ

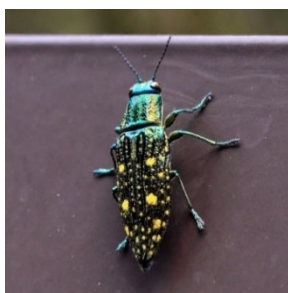
翅が美しい甲虫たち 夏の日差しを受けて輝く翅(はね)は宝石のようです。



ハンミョウ



ヤマトタマムシ



アオマダラタマムシ



マダクロホシタマムシ



オオセンチョコガネ

夏を謳歌するセミたち 鳴いている時間帯や季節の移ろいによって確認できるセミの種類が異なります。



ニイニイゼミ



ヒグラシ



ミンミンゼミ



アブラゼミ



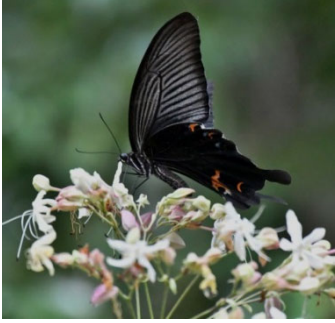
ツクツクボウシ



クマゼミ

国立公園で見られるチョウ

夏の森ではたくさんのチョウを見ることができます。樹液が出ているところ、咲いている花の蜜を吸っているところや地面に水が染み出しているところなどが、ゆっくり観察することができるポイントです。



クロアゲハ



カラスアゲハ



モンキアゲハ



アオスジアゲハ



イチモンジセセリ



キタキチョウ



アサギマダラ

夏の終りに南へ長距離移動することで知られています。箕面では10月初旬頃まで見ることができます。



ルリシジミ



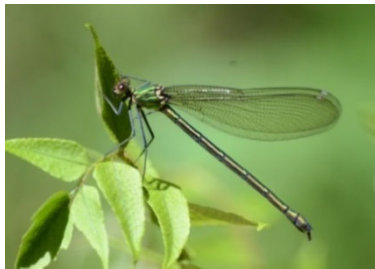
テングチョウ

美しく多様性に満ちたトンボたち

夏になり水辺をスーッと飛んでいくトンボの様子は涼しげですね。よく観察すると、翅をたたんで止まる種、広げて止まる種、腹部を水平にして止まる種、木の枝にぶら下がって止まる種など、姿も色も多様性に満ちて様々です。



ミヤマカワトンボ



アサヒナカワトンボ



モノサシトンボ



コオニヤンマ



オニヤンマ



ギンヤンマ



オオシオカラトンボ♂



ミヤマアカネ

夏の花と実 国立公園の夏は様々な花が咲きます。また、春に花盛りを迎えた木々たちが、実をつけ始める季節です。



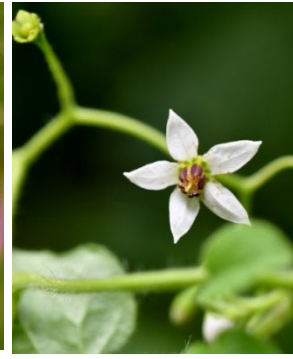
オオキツネノカミソリ



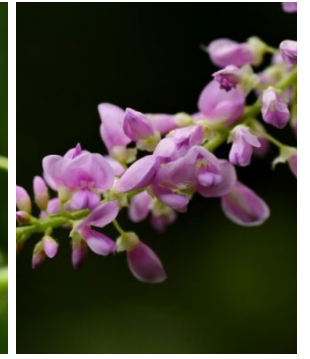
ゲンノショウコ



ホタルブクロ



ヒヨドリジョウゴ



フジカンゾウ



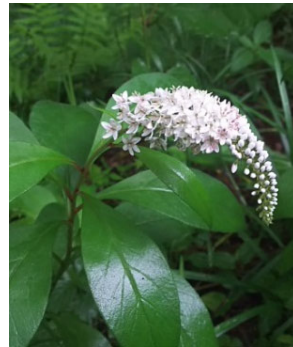
ヤブラン



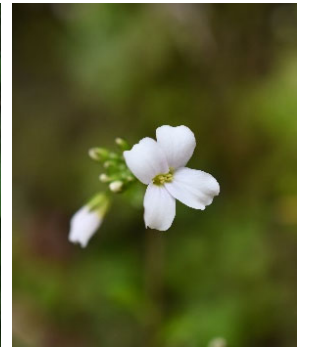
クズ



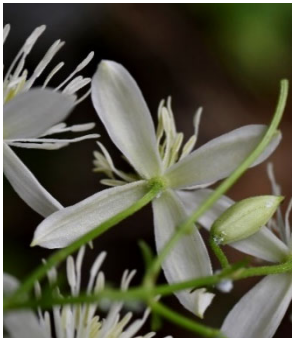
ヘクソカズラ



オカトラノオ



ハクサンハタザオ



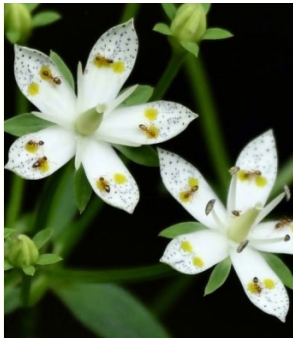
センニンソウ



クサギ

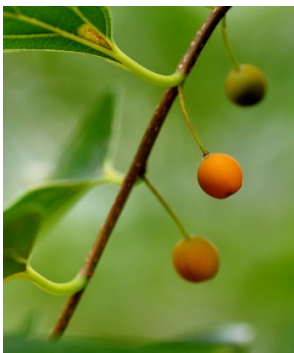


ネムノキ



アケボノソウ

開いたばかりの新鮮な花は蜜を出していて、アリが集まってきます。同心円状に並んだ蜜腺に、アリも並んで蜜をなめている様子が見られます。



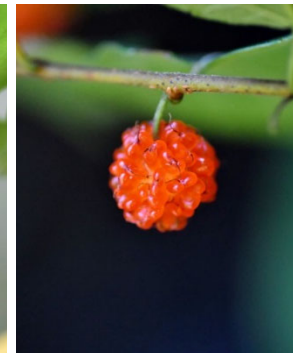
エノキ



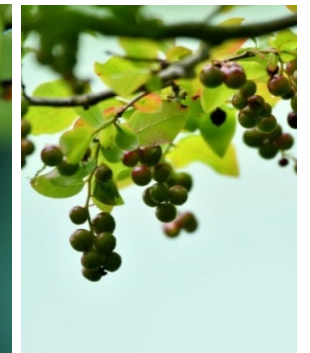
ムクノキ



コバンノキ



ヒメコウゾ



ナツハゼ



サルナシ



ヤブデマリ



ウワミズザクラ



エゴノキ

エゴヒゲナガゾウムシはエゴノキの実の上で交尾、産卵をします。幼虫は種子を食べて越冬し、翌年の初夏に種子に脱出口を開けて出現します。

タカ渡り 箕面は猛禽類の渡りのルート途中に位置しているため、春と秋に上空を通過する猛禽類が見られます。特に秋は個体数が多く、サシバ、ハチクマを中心にノスリも混じって見られます。9月後半の天气がよく、弱い北東の風が吹いて上昇気流ができる日には、「鷹柱」ができて、たくさんの猛禽類を観察できることがあります。



ハチクマ

サシバ

ノスリ

淡水にすむ不思議なクラゲ

オケ原池では、梅雨明けごろから秋の初めにかけて、マミズクラゲを観察することができます。傘の大きさは2cm程度の小さなクラゲですが、多いときには水面いっぱい広がっています。



マミズクラゲ

いろいろなキノコたち

キノコは一年中いろいろな所で見れますが、特に6月から7月の梅雨時と9月から10月ごろに最も種類が多く、数も豊富に見ることができます。雨の後、森の中をゆっくり歩きながら、じっと目を凝らしてみると、色も形も多様性に満ちた美しいキノコを観察できるでしょう。 ※キノコは採らないで眺めるだけにしましょう！



タマゴタケ



ハナビラニカワタケ



シロソウメンタケ



テングタケ



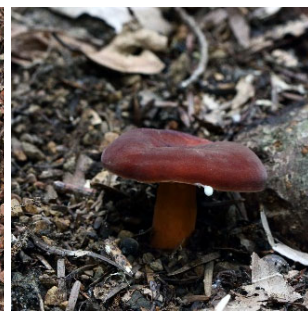
クチベニタケ



シロオニタケ



アイタケ



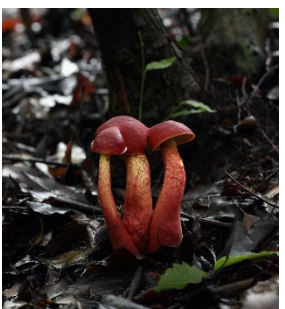
チチタケ



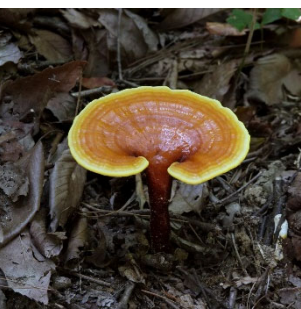
アカイカタケ



キノガサタケ



ベニイグチ



マンネンタケ



ベニチャワンタケ

NPO法人みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072 (724) 3615 HP: <http://yama-nami.net/> (検索:山なみネット)

Meiji-no-more Minoh Quasi-National Park



大阪府北部農と緑の総合事務所
〒567-0034 茨木市中穂積一丁目3番43号(大阪府三島府民センター内)
TEL 072(627)1121 / FAX 072(623)4321 / ホームページ<http://www.pref.osaka.jp/hokubunm/youkoso/index.html>